

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 28 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県南魚沼市宮1713番地

氏名 新潟ガービッチ株式会社

代表取締役 関 祐介

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-775-3771

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	新潟ガービッチ株式会社
事業場の所在地	新潟県南魚沼市宮1713番地
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	R88 廃棄物処理業
② 事業の規模	令和6年6月期決算 売上額2,695,738,653円
③ 従業員数	109人(令和7年4月1日)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別途資料をご参照願います。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別途資料参照願います。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (6 年度) 実績】											
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	
	排出量	11.57 t	6.21 t	0.17 t	48.70 t	4.17 t	1,159.77 t	38.06 t	1.51 t	170.06 t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物	混合	石綿含有産業廃棄物					
	排出量	7,098.41 t	302.70 t	0.30 t	192.00 t	32.62 t			t	t	t
(これまでに実施した取組)											
<ul style="list-style-type: none"> 再生業者及び燃料として活用する業者への売却促進。 焼却による産業廃棄物の減容化。 焼却後の燃え殻はリサイクル業者（建設骨材に使用）へ委託処理。 											
【目標】											
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	
	排出量	10.99 t	5.90 t	0.16 t	46.27 t	3.96 t	1,101.78 t	36.16 t	1.43 t	0.00 t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物	混合	石綿含有産業廃棄物					
	排出量	6,743.49 t	287.57 t	0.29 t	182.40 t	30.99 t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)											
<ul style="list-style-type: none"> 解体現場での廃棄物の分別を強化することで、再資源化を促進する。 											

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)										
	<ul style="list-style-type: none"> 現場から排出される廃棄物は出来るだけ品目毎に分別を実施。 										
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)										
	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の品目毎の分別を一層徹底。 分別を徹底した上で、再資源化可能な廃棄物については、再資源化業者に売却 焼却可能な廃棄物は焼却を促進し一層の減容を進める。 										

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】										
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	5.14 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.42 t	82.59 t	0.00 t	1.51 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5.14 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.42 t	82.59 t	0.00 t	1.51 t	
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物	混合	石綿含有産業廃棄物				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	5,577.52 t	279.70 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
(これまでに実施した取組)										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃石膏ボード、汚泥を再生土（覆土材）に再生。 ・ がれき類を再生砕石（路盤材）に再生。 ・ 木くずを木材チップ（ボイラー燃料材）に再生。 										
【目標】										
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5.14 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.42 t	82.59 t	0.00 t	1.51 t	
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物	混合	石綿含有産業廃棄物				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5,577.52 t	363.61 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
(今後実施する予定の計画)										
廃石膏ボード破砕機の更新を行い、今まで再生できなかった付着ボード等についても粉碎し、石膏粉とし再利用することが可能となる。										

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】										
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	6.41 t	5.96 t	0.17 t	10.29 t	3.75 t	958.63 t	35.02 t	0.00 t	0.00 t
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6.09 t	5.66 t	0.16 t	9.78 t	3.57 t	910.70 t	33.27 t	0.00 t	0.00 t
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物	混合	石綿含有産業廃棄物				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	23.00 t	0.00 t	56.94 t	0.00 t				
(これまでに実施した取組)										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼却中間処理により産業廃棄物の減容化を促進。 ・ 処分施設の更新により性能が向上し、再生利用できる廃棄物の割合が増加した。 										
【目標】										
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6.09 t	5.66 t	0.16 t	9.78 t	3.57 t	910.70 t	33.27 t	0.00 t	0.00 t
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物	混合	石綿含有産業廃棄物				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	21.85 t	0.00 t	54.09 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の計画)										
・ 処分施設の更新により処分性能を向上させ再生割合を向上させるとともに、省エネ化をさらに図る										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】											
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物	混合	石綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
(これまでに実施した取組)											
・自社の埋め立て場を持っていない為実績無し。											
【目標】											
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物	混合	石綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
(今後実施する予定の計画)											
・現状、自社での埋立処分を行うことは検討していない。											

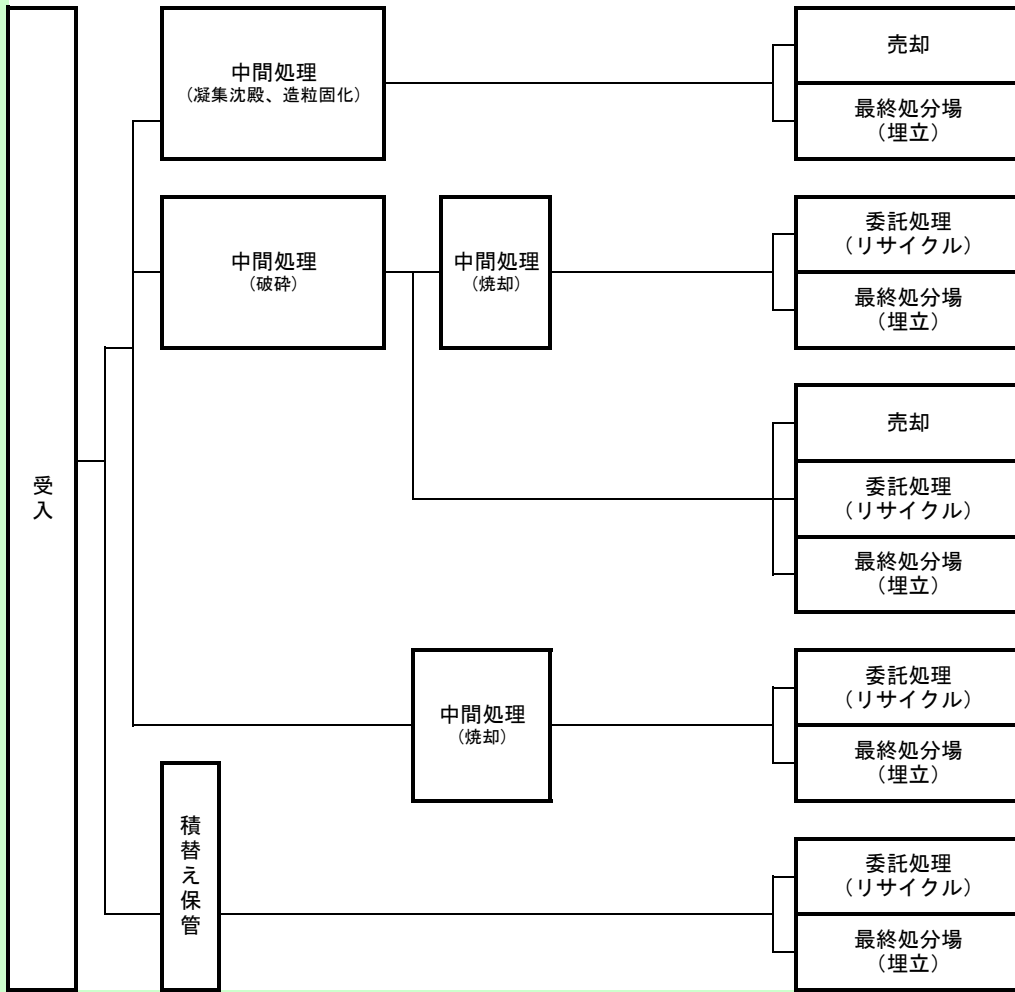
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】											
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	
	全処理委託量	0.02 t	0.25 t	0.01 t	38.40 t	0.00 t	118.55 t	3.04 t	0.00 t	170.06 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.02 t	0.25 t	0.01 t	38.40 t	0.00 t	87.04 t	3.04 t	0.00 t	155.56 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.02 t	0.25 t	0.01 t	1.59 t	0.00 t	118.55 t	3.04 t	0.00 t	0.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	
	全処理委託量	1,520.89 t	0.00 t	0.30 t	135.07 t	32.62 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	383.14 t	0.00 t	0.30 t	135.07 t	32.62 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,520.89 t	0.00 t	0.30 t	60.38 t	0.00 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)											
・処分施設の更新により、埋立せざるを得なかった廃棄物についても再生化資源化が可能となり最終処分廃棄物を減少できた。											

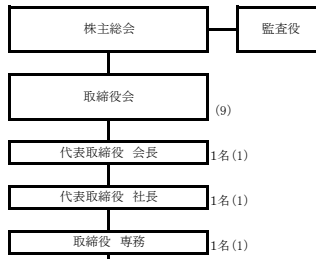
【目標】												
① 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器く		
		全処理委託量	0.02 t	0.24 t	0.01 t	36.48 t	0.00 t	112.62 t	2.89 t	0.00 t	17.01 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.02 t	0.24 t	0.01 t	36.48 t	0.00 t	82.69 t	2.89 t	0.00 t	15.56 t		
	再生利用業者への処理委託量	0.02 t	0.24 t	0.01 t	1.51 t	0.00 t	112.62 t	2.89 t	0.00 t	0.00 t		
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃石膏ボード	水銀使用製品産業廃棄物	混合	石綿含有産業廃棄物						
	全処理委託量	1,444.85 t	0.00 t	0.29 t	128.32 t	30.99 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	優良認定処理業者への処理委託量	363.98 t	0.00 t	0.29 t	135.07 t	30.99 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	再生利用業者への処理委託量	1,444.85 t	0.00 t	0.29 t	57.36 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t			
(今後実施する予定の取組)												
<p>・廃棄物の再利用や資源化について自らも研究するとともに、それらを可能とする再委託業者の発見に努める。</p>												
※事務処理欄												

産業廃棄物処理工程図

令和7年4月1日 現在



社内組織図



事業場名	リサイクルセンター															
部署名	本社	第一プラント	第二プラント	三条営業所	土木部	建築部	企画管理・営業部	廃棄物処理部	収集・運搬部	解体工事事務部	事務管理部	広報通信室	安全管理室	廃棄物処理部	廃棄物処理部	企画・営業部
作業グループ 業務内容	・総務 経理業務全般	・公共土木 ・民間土木	・公共建築 ・民間建築	・企画・営業G 顧客訪問、 見積り、 積算、 契約、 ・企画・営業	・分別破碎圧縮G ・汚泥G 受入、 処理、 設備管理	・産廃運搬G ・一産運搬G ・汚泥運搬G 配車、 収集運搬、 車両管理 ・事務G 事務管理	・解体工事事務部 解体工事、 研り工事 ・積算 ・カメラ調査	・事務G 受付、 請求業務、 事務管理、 マフラー管理、 申請、報告業 務	・社内ITインフラ 保守更新 ・HP保守更新 ・会社PR	・安全管理 安全衛生管理 業務全般、 総務(SDGs、高 顧客応用採用、 会社案内等)	・旋却G ・木材破碎G ・石膏ボードG ・汚泥G ・中和G 受入、 処理、 設備管理 ・事務G 受付、事務管理	・がれき類破碎G 受入、 処理、 設備管理 ・事務G 受付、事務管理	・企画・営業G 顧客訪問、 見積り、 契約、 受付、 事務管理、 マフラー管理			
正社員 107名(9)	2名(1)	9名(1)	4名(1)	8名(2)	10名(1)	27名	17名	8名	1名	2名	9名	6名	1名			
臨時 2名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名			
合計 109名	2名	10名	5名	8名	10名	27名	17名	8名	1名	2名	9名	6名	1名			

※兼務社員につきましては主たる部署に計上しております。
 ※()は役員人数です。